

# LM・オーストラリア毎月分配型ファンド

追加型投信／海外／債券

## 交付運用報告書

第174期(決算日2018年1月10日) 第175期(決算日2018年2月13日) 第176期(決算日2018年3月12日)  
第177期(決算日2018年4月10日) 第178期(決算日2018年5月10日) 第179期(決算日2018年6月11日)

作成対象期間(2017年12月12日～2018年6月11日)

第179期末(2018年6月11日)	
基準価額	5,540円
純資産総額	92,809百万円
第174期～第179期	
騰落率	△2.7%
分配金(税込み)合計	180円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は四捨五入して表示しております。

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「LM・オーストラリア毎月分配型ファンド」は、2018年6月11日に第179期の決算を行いました。

当ファンドは、信託財産の成長と毎月の安定した分配をめざして運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社のホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>  
ホームページの「ファンド情報・基準価額一覧」等から当ファンドを選択することにより、運用報告書(全体版)を閲覧及びダウンロードすることができます。

レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内一丁目5番1号

お問い合わせ先

TEL 03-5219-5947

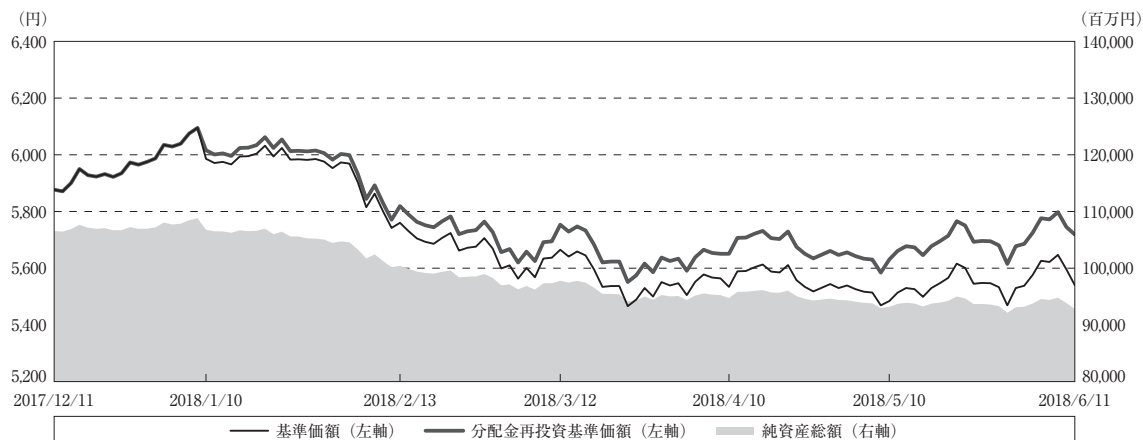
(営業日の9:00～17:00)

<http://www.leggmason.co.jp>

## 運用経過

## 作成期間中の基準価額等の推移

(2017年12月12日～2018年6月11日)



第174期首：5,877円

第179期末：5,540円（既払分配金(税込み):180円）

騰落率：△ 2.7%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首（2017年12月11日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

## ○基準価額の主な変動要因

当作成期末（2018年6月11日）のLM・オーストラリア毎月分配型ファンド（以下、当ファンド）の基準価額は5,540円（分配金控除後）となりました。当作成期の当ファンドのパフォーマンス（騰落率）はマイナス2.7%（分配金再投資ベース）、基準価額は157円（分配金込み）下落しました。オーストラリア債券市場の金利水準が相対的に高いことから、公社債利金を手堅く確保しました。しかし、債券利回りの上昇を受けて公社債損益はマイナスとなりました。また、為替損益についても、豪ドル・円相場が豪ドル安・円高となったことを受け、マイナスとなりました。

## 1万口当たりの費用明細

(2017年12月12日～2018年6月11日)

項 目	第174期～第179期		項目の概要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	円 38 (18) (19) ( 1)	% 0.673 (0.323) (0.328) (0.022)	(a) 信託報酬 = 作成期間の平均基準価額 × 信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料 (先物・オプション)	0 ( 0)	0.002 (0.002)	(b) 売買委託手数料 = 作成期間の売買委託手数料 ÷ 作成期間の 平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う 手数料
(c) その他費用 (保管費用) (監査費用) (印刷等費用)	0 ( 0) ( 0) ( 0)	0.007 (0.004) (0.001) (0.002)	(c) その他費用 = 作成期間のその他費用 ÷ 作成期間の平均受益 権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保 管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 印刷等費用は、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付 および届出に係る費用
合 計	38	0.682	
作成期間の平均基準価額は、5,708円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

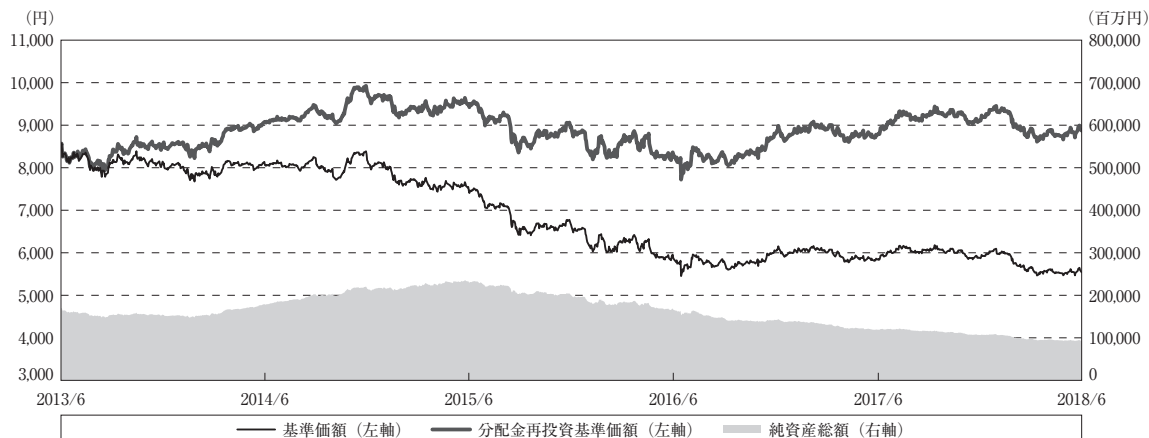
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## 最近5年間の基準価額等の推移

(2013年6月10日～2018年6月11日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、2013年6月10日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2013年6月10日 決算日	2014年6月10日 決算日	2015年6月10日 決算日	2016年6月10日 決算日	2017年6月12日 決算日	2018年6月11日 決算日
基準価額 (円)	8,508	8,063	7,462	5,871	5,836	5,540
期間分配金合計(税込み) (円)	-	960	960	690	360	360
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	-	6.7	4.6	△ 12.4	5.7	1.0
純資産総額 (百万円)	169,867	178,241	230,673	166,146	118,914	92,809

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- (注) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

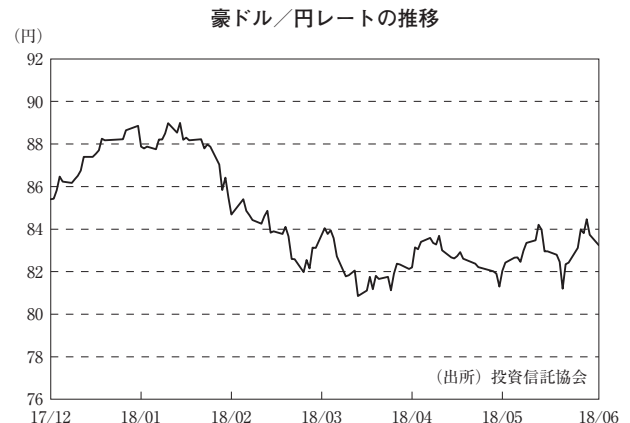
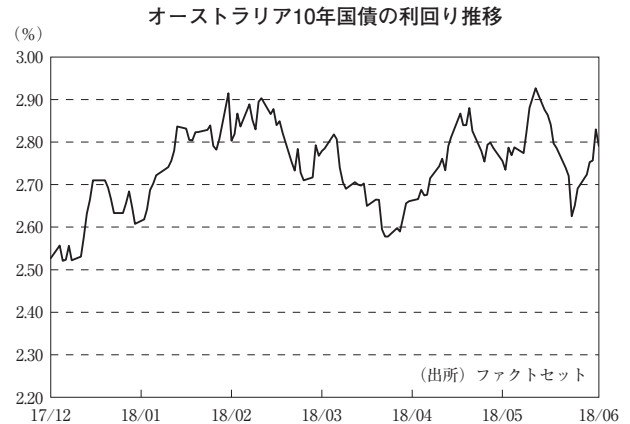
## 投資環境

(2017年12月12日～2018年6月11日)

当作成期のオーストラリア債券市場は、利回りが上昇（価格は下落）しました。期の前半は、2017年12月のオーストラリア準備銀行（RBA）理事会議事録でRBAが2018年の景気加速に自信を強めていると受け止められたことから、利回りは上昇しました。さらに、小売売上高などの豪経済指標が予想を上回ったことなどから、利回りの上昇が続きました。期の半ばにかけては、米国株式相場の急落をきっかけとした世界的な株安を受けて、安全資産としての債券買いが見られたことから、利回りは低下（価格は上昇）に向かいました。その後も、株式相場が世界的に不安定となる中、利回りの低下が続きました。期の後半にかけては、株式相場が回復に向かう中、利回りは上昇傾向となりました。その後、北朝鮮情勢を巡る地政学リスクの再燃や、欧州の政局混乱などを受け、利回りは一時大きく低下しましたが、2018年1－3月期の豪GDP成長率が予想を上回ると、再び上昇する展開となりました。

社債セクターについては、オーストラリアの債券利回りが総じて上昇する中、社債利回りは上昇し、社債スプレッド（国債に対する上乗せ利回り）についても、拡大する展開となりました。

当作成期の豪ドル・円相場は、豪ドル安・円高となりました。期の前半は、豪雇用統計で雇用者数が予想を上回ったことや、2017年12月のRBA理事会議事録で2018年の景気加速が示唆されたことなどから、豪ドル買い・円売りがやや優勢となりました。期の半ばにかけては、米国をはじめとする世界的な株安を背景に投資家のリスク回避姿勢が強まったことから、豪ドル売り・円買いが優勢となりました。期の後半にかけては、株式相場が回復に向かう中、豪ドルは対円で上昇に向かいました。その後、地政学リスクの再燃や、欧州の政局混乱などを受け、豪ドル売り・円買いが優勢となる場面も見られましたが、2018年1－3月期の豪GDP成長率が予想を上回ったことなどに支えられ、豪ドルは底堅く推移しました。



## 当ファンドのポートフォリオ

(2017年12月12日～2018年6月11日)

当ファンドは豪ドル建ての国債、州政府債、国際機関債、社債、モーゲージ証券および資産担保証券等を主要投資対象とする「LM・豪ドル債券マザーファンド」受益証券に投資を行い、長期的に安定した利金（インカム）収入が期待できるポートフォリオの運用を行いました。当ファンドは原則としてA-/A3格以上の格付けの公社債へ投資し、信用リスクの抑制を図る等、安定的な運用を目指しております。当作成期においては、金融債、リート・セクター等を中心とした社債を引き続き厚めとしました。金融債の組み入れにおいては、カバードボンド（債権担保付社債の一種）や、大手金融機関が発行する流動性・信用力が相対的に高い債券が組み入れの中心となっています。また、ポートフォリオ全体の平均格付けは引き続き高位に保ちました。

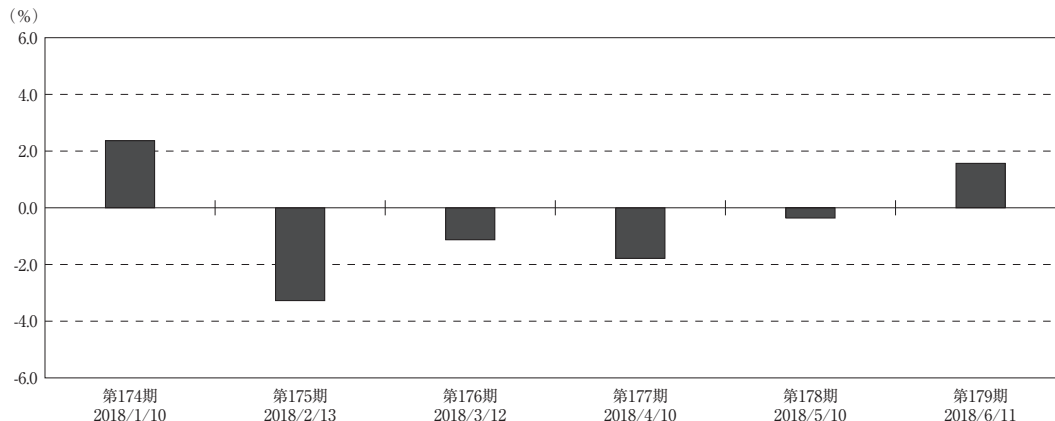
## 当ファンドのベンチマークとの差異

(2017年12月12日～2018年6月11日)

市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

以下のグラフは、作成期間の当ファンドの期別基準価額騰落率です。

基準価額（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

## 分配金

(2017年12月12日～2018年6月11日)

当作成期の分配金につきましては、以下の通りとさせていただきます。なお、収益分配に充当しなかった利益につきましては信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づき運用を行います。

## ○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり・税込み)

項 目	第174期	第175期	第176期	第177期	第178期	第179期
	2017年12月12日～ 2018年1月10日	2018年1月11日～ 2018年2月13日	2018年2月14日～ 2018年3月12日	2018年3月13日～ 2018年4月10日	2018年4月11日～ 2018年5月10日	2018年5月11日～ 2018年6月11日
当期分配金 (対基準価額比率)	30 0.499%	30 0.518%	30 0.527%	30 0.539%	30 0.544%	30 0.539%
当期の収益	19	15	11	12	12	18
当期の収益以外	10	14	18	17	17	11
翌期繰越分配対象額	786	771	753	735	717	706

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

当ファンドは、豪ドル建の国債、州政府債、国際機関債、社債、モーゲージ証券および資産担保証券等を主要投資対象とするファンドです。引き続き、市場環境に注視しながら、組入債券の信用リスク、金利リスク等に配慮しつつ銘柄を厳選し、運用に注力していく所存です。

## お知らせ

該当事項はございません。

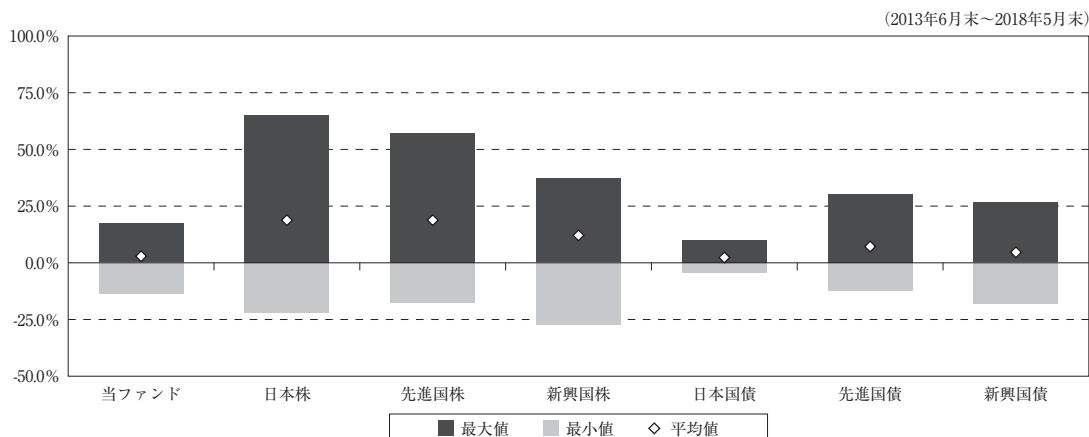
## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限	
運用方針	主として豪ドル建の公社債に投資を行い、信託財産の成長と毎月の安定した分配を目指します。	
主要投資対象	当ファンド	「LM・豪ドル債券マザーファンド」の受益証券を主要投資対象とします。
	LM・豪ドル債券マザーファンド	主として豪ドル建の国債、州政府債、国際機関債、社債、モーゲージ証券及び資産担保証券等を主要投資対象とします。
運用方法	当ファンド	LM・豪ドル債券マザーファンド受益証券以外の投資信託証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以内とします。 株式（新株引受権証券等を含みます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の20%以内とします。 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	LM・豪ドル債券マザーファンド	株式（新株引受権証券等を含みます。）及び転換社債等への投資は行いません。 外貨建資産への投資には制限を設けません。 外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。
分配方針	決算日（原則として毎月10日。休業日の場合は翌営業日）に、収益分配方針に基づいて分配を行います。	



## (参考情報)

## ○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	17.2	65.0	57.1	37.2	10.1	30.4	26.5
最小値	△ 13.8	△ 22.0	△ 17.5	△ 27.4	△ 4.3	△ 12.3	△ 18.1
平均値	2.9	18.8	18.8	12.1	2.3	7.2	4.6

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2013年6月から2018年5月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

## \* 各資産クラスの騰落率を計算するために使用した指数

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI コクサイ・インデックス (配当込み、ヘッジなし・円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、ヘッジなし・円ベース)

日本国債：FTSE 日本国債インデックス (ヘッジなし・円ベース)

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)

新興国債：FTSE 新興国市場国債インデックス (ヘッジなし・円ベース)

(注) 海外の指数は、各資産クラスに為替ヘッジなしによる投資を行うことを想定して、円ベースの指数を採用しております。

(注) 上記各指数に関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はその指数を算出、公表しているそれぞれの主体に帰属します (TOPIX: 株式会社東京証券取引所、MSCI コクサイ・インデックスおよびMSCI エマージング・マーケット・インデックス: MSCI Inc、FTSE 日本国債インデックス、FTSE 世界国債インデックス、FTSE 新興国市場国債インデックス: FTSE Fixed Income LLC)。また、それぞれの主体は当ファンドの運用に関して一切の責任を負うものではありません。

## 当ファンドのデータ

## 組入資産の内容

(2018年6月11日現在)

## ○組入上位ファンド

銘柄名	第179期末
LM・豪ドル債券マザーファンド	100.7%
組入銘柄数	1銘柄

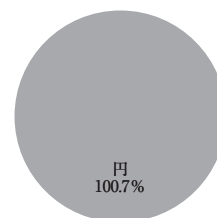
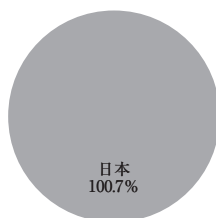
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

## ○資産別配分

## ○国別配分

## ○通貨別配分



(注) 比率は組入資産（現金等を除く）の当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) 通貨別配分は組入資産（現金等を除く）を通貨で区分したものであり、通貨変動に伴うファンドの価格変動リスクと異なることがあります。

## 純資産等

項目	第174期末	第175期末	第176期末	第177期末	第178期末	第179期末
	2018年1月10日	2018年2月13日	2018年3月12日	2018年4月10日	2018年5月10日	2018年6月11日
純資産総額	106,769,023,572円	100,412,995,839円	97,801,941,005円	94,739,071,571円	93,176,360,196円	92,809,677,590円
受益権総口数	178,363,440,108口	174,323,762,881口	172,638,631,155口	171,183,591,179口	169,915,372,348口	167,528,365,066口
1万口当たり基準価額	5,986円	5,760円	5,665円	5,534円	5,484円	5,540円

\* 当作成期間（第174期～第179期）中における追加設定元本額は3,661,161,659円、同解約元本額は17,454,177,827円です。

## 組入上位ファンドの概要

## L M・豪ドル債券マザーファンド

## 【基準価額の推移】



## 【1万口当たりの費用明細】

(2017年12月12日～2018年6月11日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (先物・オプション)	0 (0)	0.002 (0.002)
(b) その他費用 (保管費用)	1 (1)	0.004 (0.004)
合計	1	0.006

期中の平均基準価額は、23,844円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## 【組入上位10銘柄】

(2018年6月11日現在)

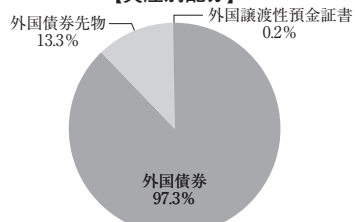
銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1 オーストラリア国債(10年)2018.6限月	債券先物(買建)	オーストラリアドル	オーストラリア	4.4
2 オーストラリア国債(3年)2018.6限月	債券先物(売建)	オーストラリアドル	オーストラリア	4.3
3 AUSTRALIAN GOVT 3.25% 2029/4/21	国債証券	オーストラリアドル	オーストラリア	2.3
4 オーストラリア国債(3年)2018.9限月	債券先物(売建)	オーストラリアドル	オーストラリア	2.3
5 オーストラリア国債(10年)2018.9限月	債券先物(買建)	オーストラリアドル	オーストラリア	2.2
6 AUSTRALIAN GOVT 4.5% 2033/4/21	国債証券	オーストラリアドル	オーストラリア	2.1
7 AUSTRALIAN GOVT 4.75% 2027/4/21	国債証券	オーストラリアドル	オーストラリア	2.0
8 QUEENSLAND TREASURY 4.25% 2023/7/21	地方債証券	オーストラリアドル	オーストラリア	2.0
9 VICTORIA TREASURY 6% 2022/10/17	地方債証券	オーストラリアドル	オーストラリア	1.9
10 AUSTRALIAN GOVT 4.25% 2026/4/21	国債証券	オーストラリアドル	オーストラリア	1.9
組入銘柄数		227銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

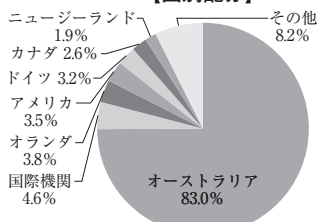
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

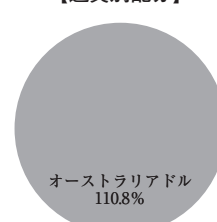
## 【資産別配分】



## 【国別配分】



## 【通貨別配分】



(注) 比率は組入資産(現金等を除く)の当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) 先物の比率は絶対値ベースで記載しております。

(注) 通貨別配分は組入資産(現金等を除く)を通貨で区分したものであり、通貨変動に伴うファンドの価格変動リスクと異なることがあります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。